

## 第113回 薬学教育協議会 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構委員会 議事録（確定）

日 時：2022年1月13日（木）18:00～19:57

場 所：WEB会議（Zoom）

出席者：

大阪府病院薬剤師会	竹上 学、土井克彦	京都府病院薬剤師会	橋元 誠、大津山裕美子（代理）
兵庫県病院薬剤師会	矢野育子、槇本博雄	滋賀県病院薬剤師会	山川雅之、早川太朗、伴 正
奈良県病院薬剤師会	奥野智之、小川恵美子	和歌山県病院薬剤師会	篝 忠宏、河崎尚史
大阪府薬剤師会	伊藤憲一郎、堀越博一	京都府薬剤師会	小林篤史
兵庫県薬剤師会	笠井秀一、三宅圭一、住谷庸子		
滋賀県薬剤師会	大迫芳孝、隠岐英之、渡邊真樹		
奈良県薬剤師会	堀本佳世子、楠本真也	和歌山県薬剤師会	稲葉真也、竹谷美賀子
京都薬科大学	橋詰 勉、津島美幸	京都大学薬学部	山下富義、津田真弘
同志社女子大学薬学	芝田信人、関本裕美、内田まよこ		
大阪大学薬学部	上田幹子、廣部祥子		
大阪医科薬科大学薬学部	角山香織、井上 薫	近畿大学薬学部	大鳥 徹、小竹 武
摂南大学薬学部	菊田真穂、辻 琢己	大阪大谷大学薬学部	名徳倫明、小畑友紀雄
武庫川女子大学薬学部	内田享弘、田内義彦	神戸薬科大学	白木 孝、濱口常男、猪野 彩
神戸学院大学薬学部	徳山尚吾、森本泰子	兵庫医療大学薬学部	清宮健一、桂木聡子
姫路獨協大学薬学部	柳澤吉則、加藤史恵	立命館大学薬学部	藤田卓也、角本幹夫
和歌山県立医科大学薬学部	欠席		
徳島文理大学薬学部	四宮一昭	徳島文理大学香川校薬学部	二宮昌樹
就実大学薬学部	島田憲一	福山大学薬学部	片山博和
監事	谷口昌彦（奈良県病院薬剤師会）		
薬学教育協議会	平田收正（和歌山県立医科大学薬学部）		

（順不同、敬称略）

議事に先立ち、濱口委員長から新年の挨拶とコロナ禍での第Ⅳ期実習実施に対するお礼が述べられた。

### 協議事項

#### 1. 2021年度実務実習について

濱口委員長から、第Ⅳ期実務実習が7週目となったが問題となることは聞き及んでいないと報告があった。本件に関する出席委員からの発言はなかった。

#### 2. 2022年度実務実習施設調整の進捗状況について

濱口委員長から、2022年度実務実習施設調整に関する状況報告と大学へのお願いが述べられた。

- ・薬局施設調整は、昨年11月9日に大学間での調整結果と学生名簿を添えて各府県薬剤師会に最終調整をお願いし、その結果を12月中に各大学へ通知した。施設への連絡解禁日は1月11日（火）とする。
- ・再調整の要因は3つある：大学からの辞退（学生留年等による）、受入施設側の要因（指導薬剤師の減員など）、ふるさと実習調整不可。再調整は2段階に分けて行う：①第Ⅰ期開始（第Ⅰ期薬局、第Ⅱ期病院）で受入不可等が生じた場合は、事案が発生した段階で調整する、②第Ⅱ期以降開始学生の受入不可は、3月中下旬に予定する大学小委員会にて行う。なお、第Ⅰ期薬局・第Ⅱ期病院から、第Ⅱ期以降開始への変更についても、3月に一括して調整する。
- ・実習を辞退する場合の施設側への連絡について：薬局の場合は府県ごとに対応が異なるので、調整機構事務局に第一報を入れ指示を受けていただきたい。病院の場合は、施設と調整機構事務局

の両方に連絡をお願いします。

### 3. 2022年度の地区連絡会の日程

濱口委員長から、資料（協 1）に基づき、2022年度各府県における連絡会日程および開催方法の準備状況について示された。多くはオンラインやハイブリッドの開催であるが、兵庫県（2月6日、会場・姫路獨協大学）は対面開催のため出席者調整が行われるとの説明があった。また、資料は紙媒体、電子ファイルのいずれでも提供可能であるので、大学または府県薬剤師会から事務局に依頼してもらえばよいと述べられた。

### 4. 2022年度地区連絡会の配布資料について

#### 1) 地区連絡会資料Ⅰ：2022年度実務実習実施にあたってのお願い（案）

濱口委員長から、資料（協2-1）に基づき、連絡会での資料となる「2022年度実務実習実施にあたってのお願い（近畿地区）」について、次の説明および要請がなされた。1)資料赤字は昨年度からの変更箇所である。2)「薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト」は、出版開始となり、今週末から書店に納入される見込みである。実習施設においてテキストを利用していただきたい。3)病院・薬局実務実習近畿地区調整機構について（p3）の記述において、従来は14大学と表記していたところを「近畿地区の6府県に所在する薬学部を有する大学」に変更した。4)2022年度実務実習日程（近畿地区）（p4）は、昨年の本委員会で承認を受けた実習日程を記載している。第Ⅰ期の土曜日・日曜日の2日間実施は努力義務とする。

本資料について、追加意見や異議はなく、承認された。

#### 2) 地区連絡会資料Ⅱ：実務実習指導・管理システム（WEBシステム）利用指針2022年度版（案）

濱口委員長から、資料（協 2-2）に基づき、「実務実習指導・管理システム（WEBシステム）利用指針 2022年度版（案）」については、WEBシステム検討作業部会で検討・改訂していただいた内容であるとの説明があり、登録のID・パスワード発行・伝達方法について再確認された。本資料について、年号記述（本文1行目）を修正したうえで連絡会資料とすることが承認された。

次に、濱口委員長から実務実習指導・管理システム（WEBシステム）のURLについて説明があった。現在、ログイン時のURLは新(<https://training-phm.fujifilm.com/UserSite/>)・旧(<https://ph.mediasolution.jp/UserSite/>) 2つが利用できるが、今後は新URLのみとなる。新URLのログイン時、パスワードをブラウザに記憶させるのみで、パスワードの手元控えの記録をしていない場合、URLが変わるとパスワードが不明のため、ログインができなくなる。そこで、富士フィルムシステムサービス社は、ログイン時のパスワード表示の期間を設け、ユーザー自身でパスワードの手元控えを作成し、新URLへの移動に備えてほしい。また、委員長から富士フィルムシステムサービス株式会社に対して本件に関する説明文書作成およびパスワード表示期間を複数回設けることを依頼している。続いて、濱口委員長から本件に関して関係者に周知するよう要請があった。

### 5. 令和4年度の事業計画（近畿地区）および予算案について

#### 1) 令和4年度事業計画

濱口委員長から、資料（協 3-1）に基づき、令和4年度近畿地区調整機構（近畿支部）事業計画案が提案された。総会を支部総会（調整機構委員会）とすること、年号等の表記修正の上、本事業計画案を承認した。

また、認定実務実習指導薬剤師認定の要件である講習会形式の研修の開催認可の業務および認定実務実習指導薬剤師の新規認定及び更新認定に関わる業務は、これまで（公財）日本薬剤師研修センターが行ってきたが、今後、（一社）薬学教育協議会が担うことになると報告された。

#### 2) 令和4年度事業計画

最初に、濱口委員長から、資料（協 3-2）に基づき令和3年度中間決算が示され、補助金収入は委員会を対面で開催したときであるので収入額はないこと、維持管理費として施設概要のプログラム開発を予定していたが高額のため断念したことの説明があった。

次に、濱口委員長から、資料に基づき令和4年度予算案が提案され、ワークショップ収入は2P6S

で5回分を見込んでいること、会議費は対面開催として計上していること、給与・手当は増額（昇給）を予定していることの説明があった。原案通り本予算案を承認した。

6. その他  
特になし

## 報告事項

### 1. 2021年度WS実施計画（近畿地区）

濱口委員長から、資料（報1）に基づき、2021年度のワークショップ開催状況について、第111回が大学利用の関係により会場を調整したことを含め報告があり、薬剤師会および病院薬剤師会の協力に対してお礼が述べられた。なお、資料としてチーフタスク名を追記することになった：第108・109回は安原智久（和歌山県立医科大学）、第110回は木下淳（兵庫医療大学）、第111回は佐藤卓史（大阪医科薬科大学）。

### 2. 第43回病院薬局実務実習中央調整機構委員会報告

濱口委員長から、資料（報2-1～報2-12）に基づき、2021年12月17日（金）にオンライン会議（Zoom）にて開催された第43回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会の議事内容について報告された。2021年度第Ⅲ期報告（報2-2）で近畿地区の記載は24-27頁であること、よい事例は報2-3に纏められていること、コロナ禍において工夫したこと、コロナ禍で特に問題になったことは報2-4に記載されている。また、次年度（2022年度）のふるさと実習の調整結果について、近畿地区からは他地区に依頼している人数が最も多く、特に中国・四国地区には81名であり、当該地区委員にお礼が述べられた。

次に、濱口委員長から認定実務実習指導薬剤師の申請受付および認定業務に関する薬学教育協議会からの文書（報2-7）について説明があった。また、平田オブザーバーから薬学教育協議会への業務移行作業に関して、1名の専従職員を配置して準備中であることなど補足説明があり、施設とは調整機構が連携をとりやすいことから円滑に業務が進むことを期待しているとの発言があった。

濱口委員長から、日本薬剤師研修センターから薬学教育協議会に業務移管される過渡期において、認定実務実習指導薬剤師の更新申請を行った場合、更新手続きが円滑に進められるのかどうかを危惧しているとの意見があり、平田オブザーバーから更新期間の猶予期間を設けるなど対応を考えたいとの回答があった。なお、竹谷委員から、業務移管前に更新申請料を振込後、業務移管後の返金の取り扱いについて質問があり、平田オブザーバーが確認することになった。

### 3. その他

- ・濱口委員長から、グループ化における和歌山の担当大学について、現在の近畿大学、大阪大谷大学に加えて和歌山県立医科大学の3大学で、和歌山県の地域の分担を決めてほしい旨の要請があった。
- ・三宅委員から、2月5日（土）開催予定の日本薬剤師会ブロック会議について案内があった。

以上

記録担当：橋詰 勉

資料（事前配付）

- 協1 2022年度各府県における連絡会日程の状況及び大学委員の担当者
- 協2-1 2022年度実務実習実施にあたってのお願い（近畿地区）案
- 協2-2 実務実習指導・管理システム（WEBシステム）利用指針2022年度版（案）
- 協3-1 令和4年度近畿地区調整機構（近畿支部）事業計画案
- 協3-2 令和4年度予算案
- 報1 2021年度WS実施計画（近畿地区）
- 報2-1 第43回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事次第
- 報2-2 令和3年度第Ⅲ期実務実習に関わる各地区の報告書
- 報2-3 令和3年度第Ⅲ期実務実習の良い事例報告
- 報2-4 令和3年度第Ⅲ期コロナ禍における実務実習についての報告
- 報2-5 令和4年度ふるさと実習施設調整結果
- 報2-6 次年度に向けた調整スケジュール
- 報2-7 認定実務実習指導薬剤師の申請受付と認定業務について
- 報2-8 更新講習（e-ラーニング）等について（日本薬剤師研修センターより）
- 報2-9 認定実務実習指導薬剤師の更新講習について（日本薬剤師会→都道府県薬剤師会、情報共有）
- 報2-10 認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領（令和2年4月1日施行）（日本薬剤師研修センター）
- 報2-11 認定実務実習指導薬剤師の更新講習及び更新申請について
- 報2-12 第43回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録